

## 笑顔になれる魔法

## メイクセラピー

## ACTIVE KUMIAI

山梨県化粧品小売協同組合(西山武夫理事長)では、3月18日甲府市内にある、グループホーム青沼を訪問し、化粧品を通して笑顔でいきいきとした毎日を送ってもらうため「メイクセラピー」を行った。

「メイクセラピー」は、お化粧をすることで高齢者の精神的活性化をもたらす他に、介護士が高齢者に化粧を施すことで達成感を得られるなど、今、話題となっている。

年齢を重ねるに従い化粧して出かける機会は少なく、まして病気などで体が不自由になればなおさらである。

参加した高齢者は、鏡に向かい「めだかの学校」を歌いながら顔をマツサージ。次いで、無添加、無香料の組合オリジナル化粧品「キリヨウ」を使って、化粧水、乳液、ファンデーション、まゆを描き、ほお紅、ご自分のできる範囲で一生懸命に手を動かし、最後に口紅をさした。

最初は無表情だった高齢者も、口紅を差す時には目を輝かせ冗談も言うようになった。

介護士に「きれいになったね」と声をかけられ、「昔は、もつとキレイだったのよ」と笑い声やお喋りの輪が広がった。

この活動は、組合設立10周年と女性部5周年を記念して活動を開始した。今後は、年に数回行つていきたい」と、渡辺真弓副理事長は語った。



口紅を挿してもらう高齢者



メイクセラピー風景